

コンゴ初のタクティカル・アーバニズム

新たな横断歩道で大学と共創

オリエンタルコンサルタンツグローバルを幹事会社とする3社JVがコンゴの首都キンシャサ市で実施したタクティカル・アーバニズムによる横断歩道の施工が完工し、記念式典や地域交流イベントなどの関連イベントが開かれた。参加者は横断歩道を中心に生まれた新しい公共空間を体験するとともに、都市交通マスタープランや交通ルールに関する基礎的な知識を学んだ。

国際協力機構（JICA）の技術協力プロジェクトで現地関係者の能力強化を主目的とした「キンシャサ市都市交通マスタープラン実施促進プロジェクト」の一環。同社とアンジェロセック、アジア航測の3社JVが参画し、同プロジェクトのパイロット活動として実施した。



学生が塗装した横断歩道

タクティカル・アーバニズムは、地域主体のコミュニティによる短期的なアクションを長期的な公共空間の改善につなげる取り組み。先進国の都市を

中心に新しいまちづくりの手法として近年実践されているが、喫緊の交通課題を抱える開発途上国での取り組みは世界的にも少なく、コンゴでは初の試みとなる。

キンシャサ市都市開発ユニットと道路・排水機構、国家交通安全委員会などのカウンターパートとともに、対象地区にある二つの大学の学生とも共創。同地区での喫緊の課題である交通安全に焦点を当て、「交通事故の無い道路を実現する—Tala Ngambo Na Ngambo」というビジョンに基づき、運転手と歩行者への交通安全を啓発するための新しい横断歩道のデザイン提案を学生に求めた。大学での投票により選定されたデザインに基づく新しい横断歩道の塗装も学生が実施、最終的に250人を超える学生が参加した。

同社は、こうした活動を通して、新しい横断歩道に対する地区全体のオーナーシップが醸成され、地域コミュニティでの交通安全に対する持続的な意識改善が期待されるとしている。